



Hola! (オラ!こんにちは)

オラが町

オリパラ通信 Vol.19

パラリンピック競技紹介 第4回「パラ陸上」後編 選手の目「競技サポーター」

9月号から紹介している加美町で直前合宿予定の「東京2020大会」パラリンピック競技。

第4回は、パラ陸上の視覚障がい選手を支える「競技サポーター」を紹介しま

す。

視覚障がいの一部の選手は、見え方を揃えるため、アイマスクを着用し、完全に見えない状態で競技を行います。

そのため、「ガイドランナー」や「コーラー」とよばれる競技サポーターが、選手の「目の代わり」となり、一緒に競技をすることが認められています。

選手をゴールまで導く!! 伴走者「ガイドランナー」

トラック種目とマラソンでは、ガイドランナーと一本のロープを握り合い、横に並んで走ります。

ガイドランナーの最大の役目は、選手を安全にゴールまで導くこと。

選手と一緒に走りながら段差や坂道、カーブなどコースの状況を言葉で伝え、全力でサポートします。

選手の走りをさまたげず、いかに同調させて走るか、選手とともに磨き上げた「二人三脚」の走りに注目です。

選手に音や声で伝える「コーラー」

跳躍・投てき種目では、コーラーが、声や手拍子を使い、「音声」で競技を行う方向などを伝えます。

走り幅跳びの場合、コーラーは踏切位置に立ち、「音声」で選手に踏切位置の方向や、踏み込むタイミングを合図します。

コーラーと選手が積み重ね練習した助走の歩幅やリズム、方向感覚などのコンビネーションも見どころです。

パラ陸上競技

